

第200期 中間事業報告書

2024年1月1日から2024年6月30日まで



証券コード：9173



代表取締役社長

山崎 潤一



株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、第200期（2024年1月1日から2024年12月31日まで）の中間期を終了いたしましたので、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、企業収益や個人消費は総じて改善し、景気は緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、景気が本格的に回復していくことが期待されます。ただし、中東情勢等による不透明感が見られる中で、原油価格の高止まり、物価上昇、為替変動、供給面での制約等による影響に十分注意する必要があります。

当中間連結会計期間における当社グループの事業環境として、コロナ5類移行後、本年5月で1年が経過し観光需要は回復傾向にあります。しかしながら、事業を営む東京諸島においては都心に比して回復のスピードが緩慢であり、前期比では、乗船客数及び関連する大島島内のホテルやバスなどの利用客数は増加しましたが、コロナ禍以前との比較ではいまだ国内の他の離島航路事業者と同様の約8割の水準に留まり、経営に大きな影響を与えております。また、貨物輸送量においては、前期と比べ微減で推移しています。

前連結会計年度においては、純損失5億8千万円を余儀なくされました。このため、本年5月より主力の伊豆諸島航路の運賃改定を行い、抜本的な経営改善を図ることと致しました。具体的には、27年ぶりに旅客運賃を15%、また26年ぶりに貨物運賃を10%それぞれ引き上げる改定を行いました。このほかにも旅客運賃のインターネット割引の割引率を4月から引き下げるなどの改善策を実施しました。

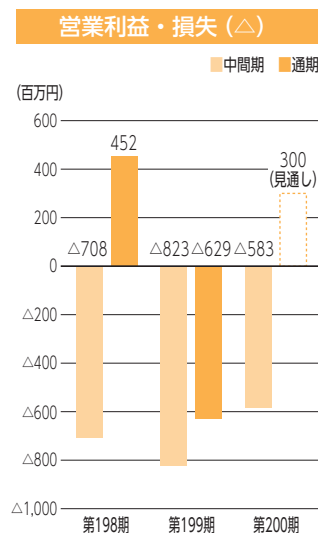
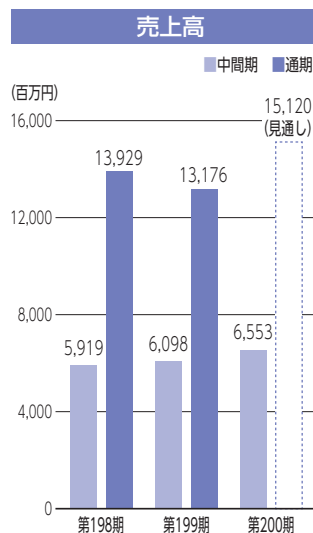
この結果、当中間連結会計期間の業績は、運賃改定の効果や乗船客数の増加等により売上高は65億5千3百万円（前年同期60億9千8百万円）、費用面で船舶修繕費や燃料費の増加があり、営業損失は5億8千3百万円（前年同期営業損失8億2千3百万円）、経常損失は6億6百万円（前年同期経常損失7億3千4百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は3億9千万円（前年同期純損失6億2千9百万円）となりました。

なお、当社グループは、乗船客が夏場の多客期に集中するため利益が下半期に集中する傾向があり、また今回の運賃改定も5月からであることから、改定効果は第3四半期において本格的に発現する計画であり、黒字転換を図ります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(単位：百万円)

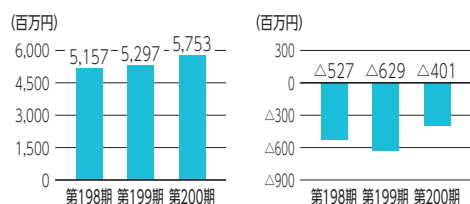
	実績			通期業績 予想
	当中間期	前中間期	増減	
売上高	6,553	6,098	455	15,120
営業利益・損失(△)	△ 583	△ 823	239	300
経常利益・損失(△)	△ 606	△ 734	127	240
純利益・損失(△)	△ 390	△ 629	239	180



事業別の売上高・営業利益概況 (中間連結会計期間)

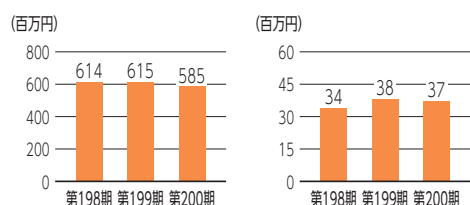
海運関連事業

売上高 5,753百万円 対前年同期比 8.6%増
営業損失(△) △401百万円 対前年同期比 ー%

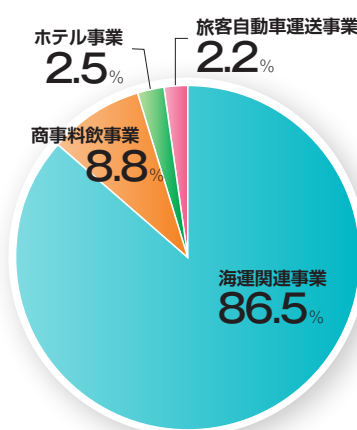


商事料飲事業

売上高 585百万円 対前年同期比 4.9%減
営業利益 37百万円 対前年同期比 2.5%減

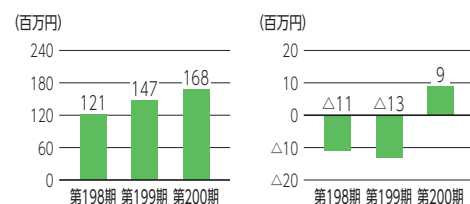


売上高構成比



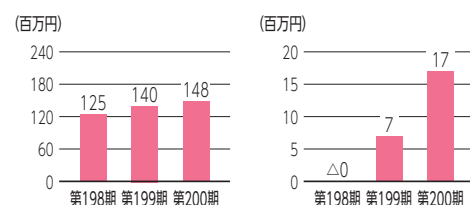
ホテル事業

売上高 168百万円 対前年同期比 14.3%増
営業利益 9百万円 対前年同期比 ー%



旅客自動車運送事業

売上高 148百万円 対前年同期比 5.7%増
営業利益 17百万円 対前年同期比 143.5%増



3Dで体験！

さるびあ丸 & 橘丸

まるで乗船気分？！
オンラインで船内を探検しよう♪

さるびあ丸



橘丸



「さるびあ丸」「橘丸」の客室や共用施設を、
実際に乗船している気分でご覧いただけます
バーチャル乗船を是非ご体験下さい！

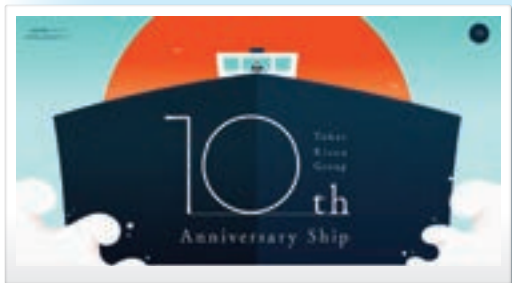




1
月

Tokai Kisen Group 10th Anniversary Ship サイトオープン

東海汽船グループの船舶「橘丸」「友正丸」「第五十八日祥丸」「あおがしま丸」「フェリーあぜりあ」の計5隻が2024年に就航10周年を迎えました。昨年末に特設サイトをオープンし、就航10周年記念ツアーやイベント情報の他、5隻を題材にしたフォトコンテストなども開催しました。



水中障害物等との衝突に対する高速ジェット船の各種訓練

関係機関と合同で高速ジェット船を使用した避難・誘導等の訓練を、東京港内にて行いました。この訓練は、水中障害物等との衝突に伴い多数の負傷者が発生、航行不能になったことを想定し実施いたしました。



東海汽船公式アプリ登場

東海汽船のお得な情報や東京諸島に関する情報を見ることができる「東海汽船 公式アプリ」をリリースいたしました。本アプリを通じて「東京諸島へ、より気軽に旅を楽しめる環境づくり」を行ってまいります。



3
月

「さるびあ丸」「橘丸」3Dマップが完成

まるで実際に乗船しているかのような臨場感あふれる3D体験をお楽しみいただけます。乗船前の予習に最適です。



「あおがしま丸」 十島航路代替輸送

鹿児島県十島村の村営船「フェリーとしま2」の代替便として、伊豆諸島開発「あおがしま丸」が運航いたしました。6月には国土交通省海事局・鹿児島県十島村より、感謝状が贈られました。



4
月

二次元バーコードによる乗船券のセルフ発券を開始

インターネット予約のお客様を対象としたセルフ発券機を竹芝客船ターミナルに設置いたしました。引き続き窓口の混雑緩和に努めてまいります。



『コンテナを活用した ビジネス&アイデアコンテスト』開催



島の環境にマッチしたコンテナを有効活用し、東京諸島のビジネスに繋げるアイデア企画を七島信用組合様と合同で立ち上げました。募集部門は3部門で賞金総額は150万円です。応募期間は10/31までで、島内外問わずどなたでもご応募いただけます。

5
月

旅客運賃及び 貨物運賃の 改定を実施

近年の人件費や船舶の修繕費等の維持コストなどの上昇等を背景に、5/1より運賃改定を実施いたしました。具体的には旅客運賃を15%、貨物運賃を10%、それぞれ引き上げさせていただきました。

6
月

伊豆松崎⇄東京 直行便 特別クルーズ開催

約210kmを所要時間2時間40分で結ぶ新ルートをも6/15～16に運航いたしました。自動車や他の公共交通機関と比べても所用時間が最短であることもあり話題となりました。





■会社概要

商号 東海汽船株式会社 (証券コード 9173)
本社 東京都港区海岸1丁目16番1号
創立 1889年11月15日
資本金 11億円
従業員数 370名 (連結)

■役員

代表取締役社長	山崎潤一
常務取締役	櫻井薫
取締役	若林英一
取締役	齊藤宏之
取締役	櫻井和秀
取締役	倉崎嘉典
常勤監査役	藤間修
常勤監査役	竹崎啓介
監査役	宇田川秀人

■株式の状況

発行可能株式総数 880万株
発行済株式の総数 220万株
株主数 7,207名

■大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
藤田観光株式会社	396千株	18.04%
DOWAホールディングス株式会社	150千株	6.83%
東京汽船株式会社	75千株	3.45%
株式会社みずほ銀行	52千株	2.39%
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	51千株	2.32%
ENEOSホールディングス株式会社	50千株	2.27%
東海汽船従業員持株会	42千株	1.93%
みずほ信託銀行株式会社	35千株	1.59%
内海造船株式会社	33千株	1.50%
株式会社アイ・エス・ビー	30千株	1.36%

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式 (5,291株) を控除して計算しております。

最新情報はホームページで随時公開中！



<https://www.tokaikisen.co.jp/>



■株主メモ

事業年度 毎年1月1日～12月31日
定時株主総会 3月
基準日 12月31日
その他必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告して定める日。
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
郵送物送付先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法 電子公告により行います。
(当社ホームページに掲載)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

その他ご不明な点は、株主名簿管理人0120-288-324 (フリーダイヤル) へお電話下さい。

■株主優待

12月31日現在および6月30日現在、100株以上ご所有の株主様を対象に株主乗船割引券および株主サービス券を発行しております。

有効期限

4月1日～9月30日 (権利確定日12月31日、優待発送3月中旬)
10月1日～翌年3月31日 (権利確定日6月30日、優待発送9月中旬)

■株主乗船割引券

●発行方法・優待内容

100株以上保有されている株主様に、所有株式数にあわせて下記の通り株主乗船割引券を発行致します。

- ・100株～199株 10枚 (1冊)
- ・200株～399株 20枚 (2冊)
- ・400株～599株 30枚 (3冊)
- ・600株以上 40枚 (4冊)

■株主サービス券

●発行方法

・100株以上保有されている株主様に、株主サービス券を一律1冊発行致します。

●優待内容

- | | |
|-----------------------------|----|
| ・東海汽船 企画旅行15%割引券 | 5枚 |
| ・大島温泉ホテル 宿泊割引券 | 5枚 |
| ・大島温泉ホテル 朝食休憩割引券 | 5枚 |
| ・東海汽船グループ ショップ・売店15%割引券 | 5枚 |
| ・大島バス1日・2日乗車券割引券 | 5枚 |
| ・竹芝客船ターミナル内レストラン「HARBOR」割引券 | 5枚 |

